

2024 年 7 月 24 日現在

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数		
かんきつ (苗木、ただし、 温州みかんを除く)	花芽抑制による 樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a	12～3 月	1 回	立木全面散布又は枝 別散布(マシン油乳剤 60 ～80 倍液に加用)	1 回		
		ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a			立木全面散布又は 枝別散布			
ジベレリン 2.5ppm		200～700 L/10a	収穫後～3 月	立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60～80 倍液に加用)					
ジベレリン 10ppm		50～250 L/10a		立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロシヤモン 2000 倍液に加用)					
ジベレリン 25～50ppm				立木全面散布 又は枝別散布					
落果防止		ジベレリン 10ppm	50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後		散布 散布(プロヒドロシヤモン 2000 倍液に加用)			
	ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a	収穫後～3 月	立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60～80 倍液に加用)					
不知火 はるみ 愛媛果試第28号	花芽抑制による 樹勢の維持	ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 カ月後	1 回	立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロシヤモン 2000 倍液に加用)	3 回以内		
		ジベレリン 25～50ppm				立木全面散布 又は枝別散布			
		落果防止	ジベレリン 10ppm			50～100 L/10a		開花始め～ 満開 10 日後	散布 散布(プロヒドロシヤモン 2000 倍液に加用)
	水腐れ軽減		ジベレリン 0.5～1ppm	50～500 L/10a		着色終期 但し、収穫 7 日前まで		果実散布	
ぼんかん	花芽抑制による 樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a	収穫後～3 月		1 回		立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60～80 倍液に加用)	1 回
		ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 カ月後				立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロシヤモン 2000 倍液に加用)	
		ジベレリン 25～50ppm			立木全面散布 又は枝別散布				
	落果防止	ジベレリン 10ppm	50～100 L/10a		開花始め～ 満開 10 日後		散布 散布(プロヒドロシヤモン 2000 倍液に加用)		
		水腐れ軽減	ジベレリン 0.5ppm	50～500 L/10a	着色始期～ 4 分着色期 但し、収穫 21 日前まで		果実散布		

2024 年 7 月 24 日現在

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
長門ユズ柑 (無核)	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 カ月後	1 回	立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロシヤモン 2000 倍液に加用)	1 回
		ジベレリン 25～50ppm				立木全面散布 又は枝別散布	
	落果防止	ジベレリン 10ppm	50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後		散布	
		ジベレリン 50ppm				散布(プロヒドロシヤモン 2000 倍液に加用)	
	着果安定	ジベレリン 50ppm	開花期～ 開花終期	花又は 果実散布			
	果皮の 緑色維持	ジベレリン 10～25ppm	50～400 L/10a	収穫予定 14～30 日前		果実散布	
すだち	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 カ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロシヤモン 2000 倍液に加用)	
		ジベレリン 25～50ppm				立木全面散布 又は枝別散布	
	落果防止	ジベレリン 10ppm	50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後		散布	
		ジベレリン 50ppm				散布(プロヒドロシヤモン 2000 倍液に加用)	
	果皮の 緑色維持	ジベレリン 5～25ppm	50～400 L/10a	収穫予定 7～30 日前		果実散布	
	平兵衛酢 かぼす	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a		収穫直後～ 収穫約 1 カ月後	
ジベレリン 25～50ppm			立木全面散布 又は枝別散布				
落果防止		ジベレリン 10ppm	50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後		散布	
		ジベレリン 50ppm				散布(プロヒドロシヤモン 2000 倍液に加用)	
果皮の 緑色維持		ジベレリン 10～25ppm	50～400 L/10a	収穫予定 14～30 日前		果実散布	
ワシントンネーブル		花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a		収穫後～3 月	
	ジベレリン 10ppm		50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 カ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロシヤモン 2000 倍液に加用)	
	ジベレリン 25～50ppm					立木全面散布 又は枝別散布	
	落果防止	ジベレリン 500ppm	30～40 L/10a	満開 10～20 日後の 幼果期		幼果に散布	

2024 年 7 月 24 日現在

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジベレリンを 含む農薬の 総使用回数			
日向夏	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a	収穫後～3 月	1 回	立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60～80 倍液に加用)	1 回			
		ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 カ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロキシメソ 2000 倍液に加用)				
		ジベレリン 25～50ppm				立木全面散布 又は枝別散布				
	無種子化 落果防止	ジベレリン 300 ～500ppm	30～40 L/10a	満開 7～10 日後		果実散布				
愛媛果試第 48 号	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a	収穫後～3 月		1 回	立木全面散布又は枝別 散布(マシン油乳剤 60～80 倍液に加用)	3 回以内		
		ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 カ月後			立木全面散布 又は枝別散布			
	落果防止		50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後			散布			
	水腐れ軽減	ジベレリン 0.5～1ppm	50～ 500L/10a	着色終期 但し、収穫 7 日前まで			果実散布			
清見	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a	収穫後～3 月			1 回		立木全面散布又は枝別 散布(マシン油乳剤 60～80 倍液に加用)	3 回以内
		ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 カ月後					立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロキシメソ 2000 倍液に加用)	
		ジベレリン 25～50ppm			立木全面散布 又は枝別散布					
	落果防止	ジベレリン 10ppm	50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後	散布					
		ジベレリン 10ppm			散布(プロヒドロキシメソ 1000～2000 倍液に加用)					
	水腐れ軽減	ジベレリン 0.5～1ppm	50～ 500L/10a	着色終期 但し、収穫 7 日前まで	果実散布					
カラ	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a	収穫後～3 月	1 回	立木全面散布又は枝別 散布(マシン油乳剤 60～80 倍液に加用)		1 回		
		ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 カ月後		立木全面散布 又は枝別散布				
	落果防止		50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後		散布				
	水腐れ軽減	ジベレリン 0.5～1ppm	50～ 500L/10a	着色終期 但し、収穫 7 日前まで		果実散布				

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジベレリンを 含む農薬の 総使用回数	
きんかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a	収穫後～3 月	1 回	立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60～80 倍液に加用)	1 回	
		ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 カ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒト・ロジヤスモン 2000 倍液に加用)		
		ジベレリン 25～50ppm				立木全面散布 又は枝別散布		
	落果防止	ジベレリン 10ppm	50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後		散布 (プロヒト・ロジヤスモン 2000 倍液に加用)		
		着果安定	ジベレリン 300ppm	30～60 L/10a		一番花開花期		花に散布
	温州みかん (苗木)	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a		11～1 月		立木全面散布 又は枝別散布
ジベレリン 10ppm			立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒト・ロジヤスモン 1000～2000 倍液に加用)					
ジベレリン 2.5ppm			200～700 L/10a	立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60～80 倍液 又は展着剤に加用)				
温州みかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 カ月後		立木全面散布 又は枝別散布		3 回以内
		ジベレリン 10ppm				立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒト・ロジヤスモン 1000～ 2000 倍液に加用)		
		ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a	11～1 月 但し、収穫後		立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60～80 倍液 又は展着剤に加用)		
	落果防止	ジベレリン 10ppm	50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後		散布(プロヒト・ロジヤスモン 1000～2000 倍液に加用)		
		ジベレリン 25～50ppm				散布		
	浮皮軽減	ジベレリン 1～5ppm	100～400 L/10a	収穫予定日の 3 カ月前 但し、収穫 45 日前まで		果実散布 (プロヒト・ロジヤスモン 1000～ 2000 倍液に加用)		

2024 年 7 月 24 日現在

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
かき	落果防止	ジベレリン 12.5～200ppm	30～100 L/10a	満開 10 日後	1 回	幼果及びへたに散布	1 回
すもも(貴陽)	着果安定	ジベレリン 100～200ppm	20～50 L/10a	満開 20～30 日後 (第 1 回目) 満開 50～60 日後 (第 2 回目)	2 回	果実散布	2 回
アセラ	着粒安定	ジベレリン 25ppm	100～400 L/10a	開花期	1 花当り 1 回	花に散布	1 花そう当り 3 回 以内
野菜類	発芽促進	ジベレリン 50～200ppm	—	は種前	1 回	種子浸漬	1 回
みつば (軟化栽培 を除く)	生育促進	ジベレリン 10ppm	50～100 L/10a	本葉 2～3 枚時 (第 1 回目) とその 2 週間後 (第 2 回目) 但し、収穫 14 日前ま で	2 回	葉面散布	3 回以内 (種子への処理は 1 回以内、は種後 は 2 回以内)
みつば (軟化栽培)		ジベレリン 20～50ppm		根株伏込時	1 回	根株上面に散布	2 回以内 (種子への処理 は 1 回以内、根 株伏込時は 1 回 以内)
ふき		ジベレリン 25ppm	50～300 L/10a	葉数 3～4 枚時 (草丈 10～30cm 頃)		全面散布	1 回
セルリー	生育促進 肥大促進	ジベレリン 50～100ppm	20～200 L/10a	収穫予定 7～20 日前		葉面散布	2 回以内 (種子への処理は 1 回以内、は種後 は 1 回以内)
畑わさび	花茎の抽出時 期促進及び 発生量増加	第 1 回目 ジベレリン 100ppm 第 2 回目 ジベレリン 100ppm	1 株当り 2mL	花芽分化後の 10 月下旬(第 1 回目) 及び第 1 回目処理後 約 10 日後の 11 月上 旬(第 2 回目) 但し、収穫 60 日前ま で	2 回	株の中心部に散布	3 回以内 (種子への処理は 1 回以内、は種後 は 2 回以内)
たらのき (促成栽培)	萌芽促進	ジベレリン 50ppm	100～200 mL/m ²	伏込時	1 回	駒木散布	1 回
うど (春うど)	休眠打破に よる生育促進	ジベレリン 50ppm	1 株当り 20～25 mL			根株散布	
		ジベレリン 50～100ppm	—			根株浸漬	
トマト	空どう果防止	ジベレリン 10ppm	1 花房 当り 5mL	開花時	1 花房当り 1 回	花房散布 (トマト落果防止剤と併 用)	種子への 処理は 1 回、1 花 房当り 1 回
なす	着果数増加	ジベレリン 10～50ppm	100～150 L/10a		1 回	葉面散布	2 回以内 (種子への処理は 1 回以内、は種後 は 1 回以内)
さやいんげん (矮性(促成又は 半促成栽培))	節間伸長促進	ジベレリン 5ppm	1 株当り 2mL	本葉 0.5～1.5 枚展開 時	2 回以内	茎頂部散布	3 回以内 (種子への処理は 1 回以内、は種後 は 2 回以内)
しそ (花穂)	穂の伸長促進 花径の伸長 促進		50 L/10a	出穂期 但し、収穫 5 日前ま で		茎葉散布	
いちご (促成栽培)	着果数増加 熟期促進	ジベレリン 10ppm	1 株当り 5mL	休眠に入る直前 (冬場の低温期)	1 株当り 6 回以内	茎葉全面散布	1 株当り 10 回以内
いちご	果柄の 伸長促進			頂花の出蕾直後 ～開花直前	1 花房 当り 1 回	株の中心部に散布	
いちご (親株床)	ランナー発生促進	ジベレリン 50ppm	1 株当り 10mL	採苗時 ランナー発生直前 ～発生初期	1 株当り 1 回	茎葉散布	1 株当り 1 回

2024 年 7 月 24 日現在

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ごぼう (促成栽培)	休眠打破による生育促進	ジベレリン 10～15ppm	50～100 L/10a	休眠に入る直前 (残葉2枚程度の頃) 及びその約1ヵ月後 但し、収穫30日前まで	2回以内	茎葉散布	3回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は2回以内)
メロン	着果促進	ジベレリン 200ppm	1花当たり 2～5 mL	開花前日～翌日	1花当たり 1回	散布 (4-CPA 剤 50 倍液に 加用)	種子への 処理は1回、 1花当たり1回
ばれいしょ	休眠打破による 萌芽促進及び小粒いもまたは全粒種いもの増収	ジベレリン 5～10ppm	- 250～300mL /種いも 10kg	植付前	1回	30秒間 種いも浸漬	1回
シクラメン	開花促進	ジベレリン 1～5ppm	1株当たり 2～5 mL	9月中・下旬		種いも散布	
プリムラ (マコイデス)		ジベレリン 10～20ppm		11月上旬頃の花蕾出現直後		花蕾を含む芽の中心部に散布 株の中心部に散布	
みやこわすれ	開花促進 草丈伸長促進	ジベレリン 50～100ppm	1株当たり 10～15 mL	1月中旬の 保温開始時から 7～10日間隔	3回	葉面散布	3回以内
きく		ジベレリン 25～100ppm	50～100 L/10a	生育期	2回以内	茎葉散布	2回以内
しらん		ジベレリン 50ppm	—	植付時	1回	30分間株浸漬	1回
チューリップ (促成栽培)	開花促進	ジベレリン 400ppm	1球当たり 1mL	草丈7～20cmの 時に7日間隔	2回以内	筒状の葉の中心部に 滴下	2回以内
	花丈伸長促進及び 茎の肥大促進	ジベレリン 100ppm		草丈7～10cm時	1回	ホルクロフェニエロン 0.05～ 0.1ppm 液に加用 葉筒内に滴下	
りんどう	発芽促進	ジベレリン 50～200ppm	—	は種前		種子浸漬	2回以内 (種子への処理は 1回以内、は種後 は1回以内)
	生育促進	ジベレリン 100ppm	50～150 L/10a	定植直前または 定植1～5週間後		茎葉散布	
			1株当たり 5～ 10mL	収穫後		切株散布	
カー (湿地栽培を除く)	生育促進	ジベレリン 50ppm	—	植付時		球根浸漬	2回以内
50～150 L/10a			花茎伸長期	茎葉散布			
スパティフィラム	開花促進	ジベレリン 250～500ppm	30～40 L/10a			出荷予定期の 2～3ヵ月前	1回
トルコギキョウ	生育促進	ジベレリン 50～100ppm				生育期間中に ベット化した時	
リリダコ		ジベレリン 25ppm	1株当たり 1mL			活着直後又は萌芽 後	
アザレア	開花促進	ジベレリン 250～500ppm	30～40 L/10a	開花予定日 約1ヵ月前		球根浸漬	
アイリス	生育促進	ジベレリン 50～100ppm	—	植付時			
花き類 (りんどうを除く)	発芽促進	ジベレリン 50～200ppm		は種前			種子浸漬
さつき (施設栽培苗)	茎の伸長促進 花芽分化の抑制	ジベレリン 100～200ppm	50～100 L/10a	茎の伸長初期～ 伸長終期(開花盛 期以降)1～2週間 間隔	3回	頂芽に十分散布	3回以内
さくら (切り枝促成栽培)	休眠打破に よる生育促進	ジベレリン 25～50ppm	50～200 L/10a	休眠期	1回	切り枝全面散布	1回
			—			切り枝浸漬	